

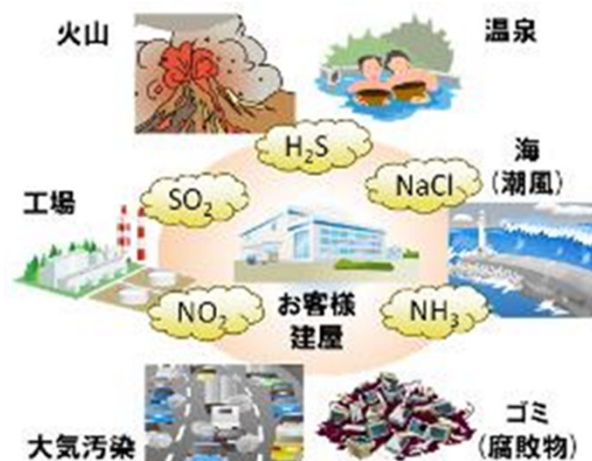
生活環境悪臭調査

「エコチェッカ」で、悪臭（腐敗臭）成分の硫化水素の多少を調べられます。

こんなことでお困りではありませんか？

- 河川で悪臭が発生し対策を打ちたいが、どこで対策を実施したらよいかわからない。
- ごみ置き場の悪臭状況を捉えたいが、ガス分析では風向きの影響が大きく、比較が難しい。
- 悪臭対策を実施したので、効果を確認したい。

→ エコチェッカをお試ください。



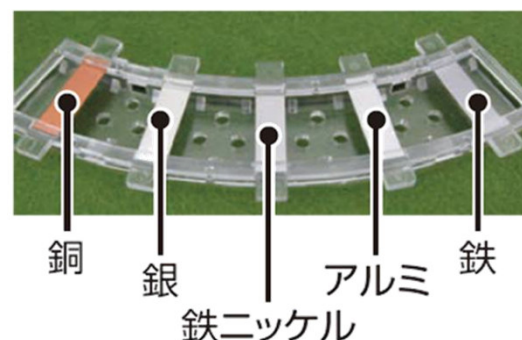
腐食性ガス診断キット「エコチェッカ II」

5種類の金属試験片をセットしたキットです。

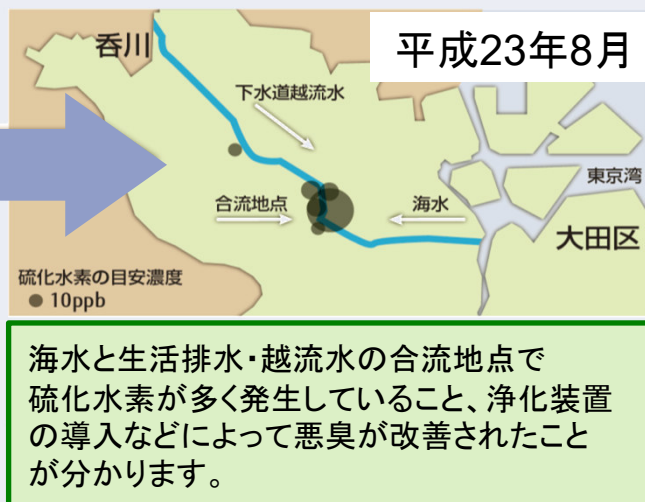
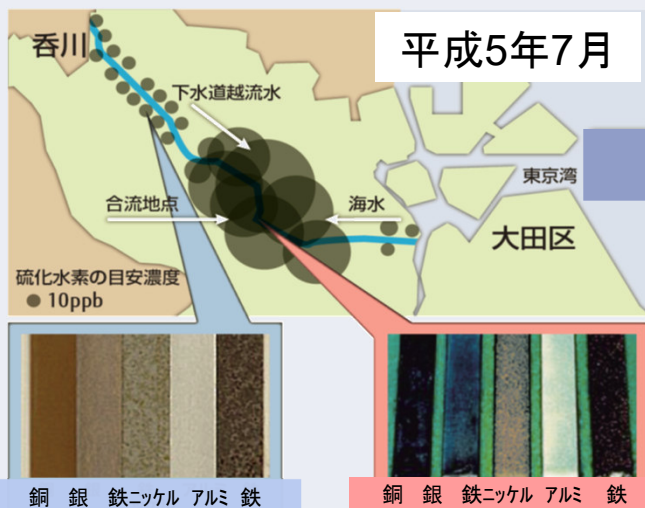
試験片が腐臭成分である硫化水素などの腐食性成分と反応した時の腐食の度合いから影響の大きさを比較できます。

使い方は簡単。調べたい場所に、直接雨にぬれないように1ヶ月（あるいは2週間）放置しておくだけです。

放置したキットをご返送頂き、腐食度合いを蛍光X線分析で定量した結果をおよそのガス濃度に換算してご報告します。



河川流域の環境調査例(大田区様)



様々なニーズに対応する当社の腐食環境診断・対策技術

当社では、微量な硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素系ガスの影響を調査するための腐食性ガス診断キット「エコチェッカ II」、海塩粒子などの塩害成分を調査するための堆積・浮遊塩分調査キットの他、材料分析による腐食トラブルの原因解析、腐食環境対策ツールなど様々な大気環境の腐食性診断・対策ニーズに対応する技術を準備し、腐食トラブルの未然防止と対策を通じてお客様の大切な業務を守ります。

■ エコチェッカ II

-主に屋内大気の腐食性を診断

- ・多点同時にスクリーニング
- ・大気暴露中の腐食を積算して評価
- ・蛍光X線やカソード還元などの追加分析で、金属の腐食度合いを目安濃度、腐食速度に換算して定量



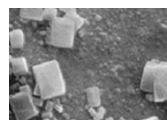
■ 環境中の塩害成分調査

-堆積・浮遊塵埃中の塩分量を分析します。

- ・JIS Z2382準拠のドライガーゼ法
 - ・JEITA IT-1004B準拠の等価塩分量測定
- など、最適な調査方法を提案します。

堆積塵埃調査
＝拭き取り式（スミア式）

塵埃中の
塩分粒子



■ QCM腐食センサー

-腐食挙動の変化をモニタリング

- ・曜日や時間帯による腐食の変動を評価
- ・リアルタイムな腐食評価が可能
(本品はレンタルでご提供しています)

腐食診断用QCM素子
⇒水晶振動子上に
金属薄膜を製膜

センサー
ユニット

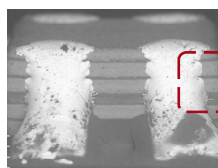


内蔵

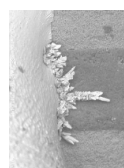


■ トラブルの原因解析

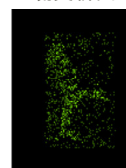
- ・機器・設備のトラブルと腐食の関連を、豊富な経験に基づく材料分析で明らかにします。



EDX分析



硫黄析出



上記に関わらず、ご要望・ご相談がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

メモ欄

お問い合わせ先

ユーロフィンFQL株式会社

エコチェッカ、腐食環境診断・対策に関するご相談

<https://www.eurofins.co.jp/efql/ecochecker>

9時～17時 土・日・祝日・当社指定の休業日を除く